

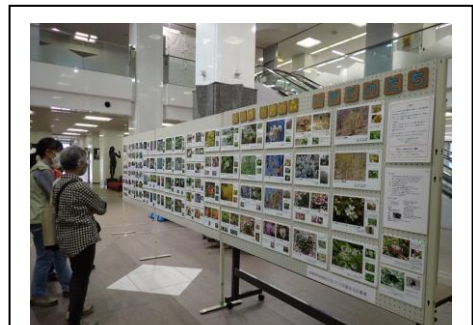
令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	茅野市 市民の森の自然を伝え活用促進する事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 八ヶ岳森林文化の会 茅野市玉川7167-2 0266-75-1772
事業区分	(5)環境保全、景観形成 (4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	643,191円 (うち支援金: 514,000円)

事業内容

全国的に里山が消えていくこの時代に、豊かな動植物を自由に観察できる市民の森は貴重な存在であるが、地元ですら市民の森を知らない人がまだまだ多い。市民の森を多くの方の癒しの森として利用して頂くための周知活動を実施した。

- ①ガイドブック「市民の森に集う」を1000部増刷
- ②Web上に「市民の森のいきものたち」(図鑑)を製作
- ③「市民の森のいきものたち」をテーマの写真展を開催
ロビー展 8月16日～8月25日
コーナー展示 6月から11月の常時



【ロビー展】

【目標・ねらい】

- ①市民の森への訪問者を増やす
- ②里山の理解、生物多様性の認識、森を守る必要性の周知

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ガイドブックは1000冊印刷し、11月30日現在60冊を配布した。
- ②Web図鑑には植物330種を掲載し、実際の観察会で参加者と共に有用性を確認できた。
- ③来訪者の多い市役所、ゆいわく茅野での写真展は、入場者数から割り出し、少なくともそれぞれ300人、100人の観覧者があったと考えられる。
コロナ禍でのイベント自粛、規模縮小、大雨災害での市民の森の閉鎖期間もあり、市民の森の訪問者増加とはならなかったと思われるが、今後の足掛かりは出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

いきものたちの写真を再利用可能なパネルにしたので、ロビー展は毎年市民の森オープン前に定期的に実施を予定している。コーナー展示も、市民の森オープンからクローズまでの展示を恒例とし、コロナ禍が治まれば、写真のいきものたちを解説するミニ講座などの企画を検討していく。web図鑑は更新が容易なため、初観察のものをタイムリーに更新、観察会参加者が撮った写真で更新するなど、皆で作る身近な図鑑にしていく。現在、植物のみであるが、昆虫も掲載するよう準備を進めている。昆虫が入ると利用者の層が広がるのが期待できる。

※自己評価【 A 】

【理由】
写真展、Web図鑑の規模が予定以上の動植物を紹介することができ、里山の多様性をアピールすることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある